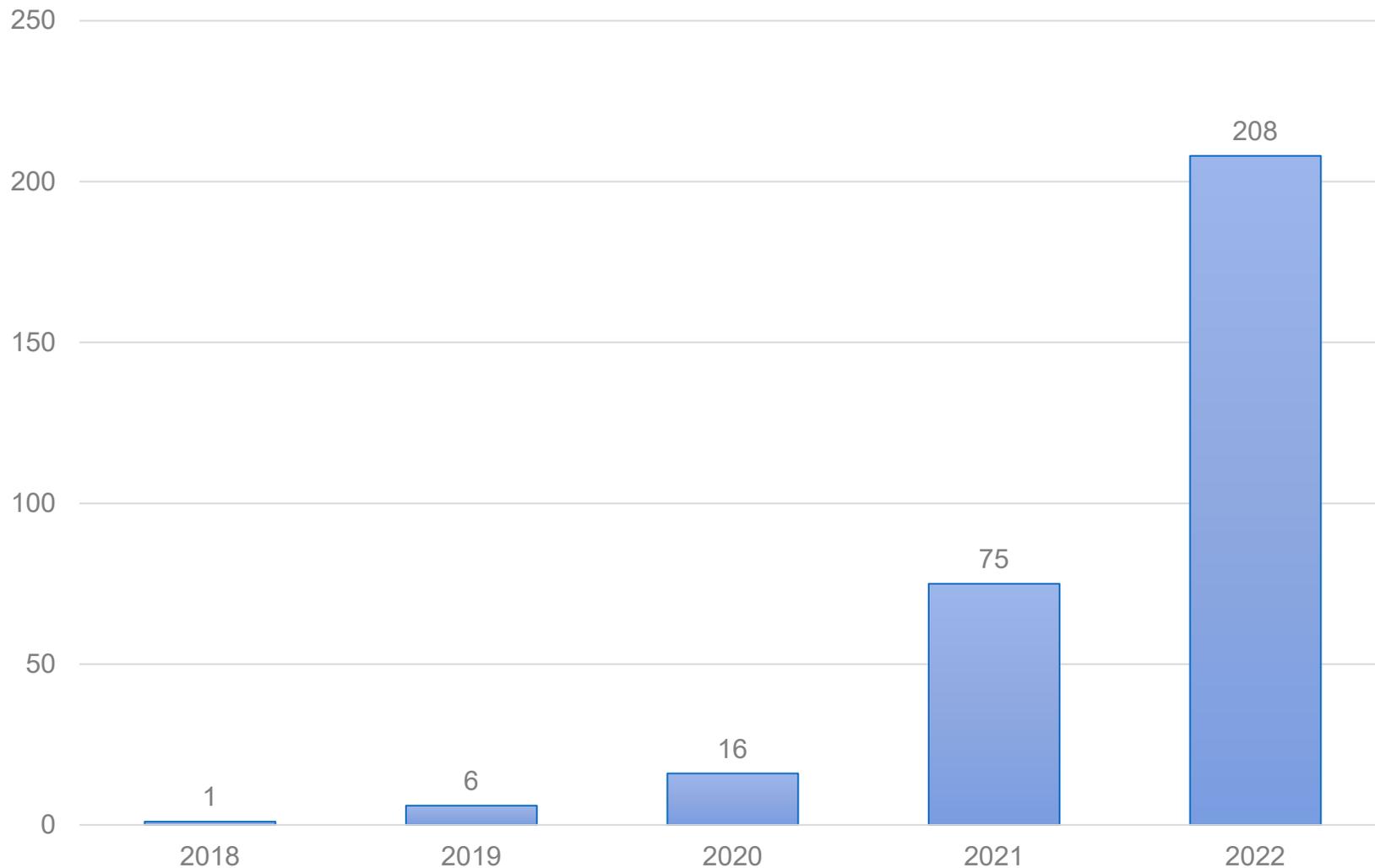


# PIF（ポジティブ・インパクト・ファイナンス）の取り組み件数



\* 静岡銀行調べ(JCR、R&I、DNV意見書で公表されているベースでカウント)

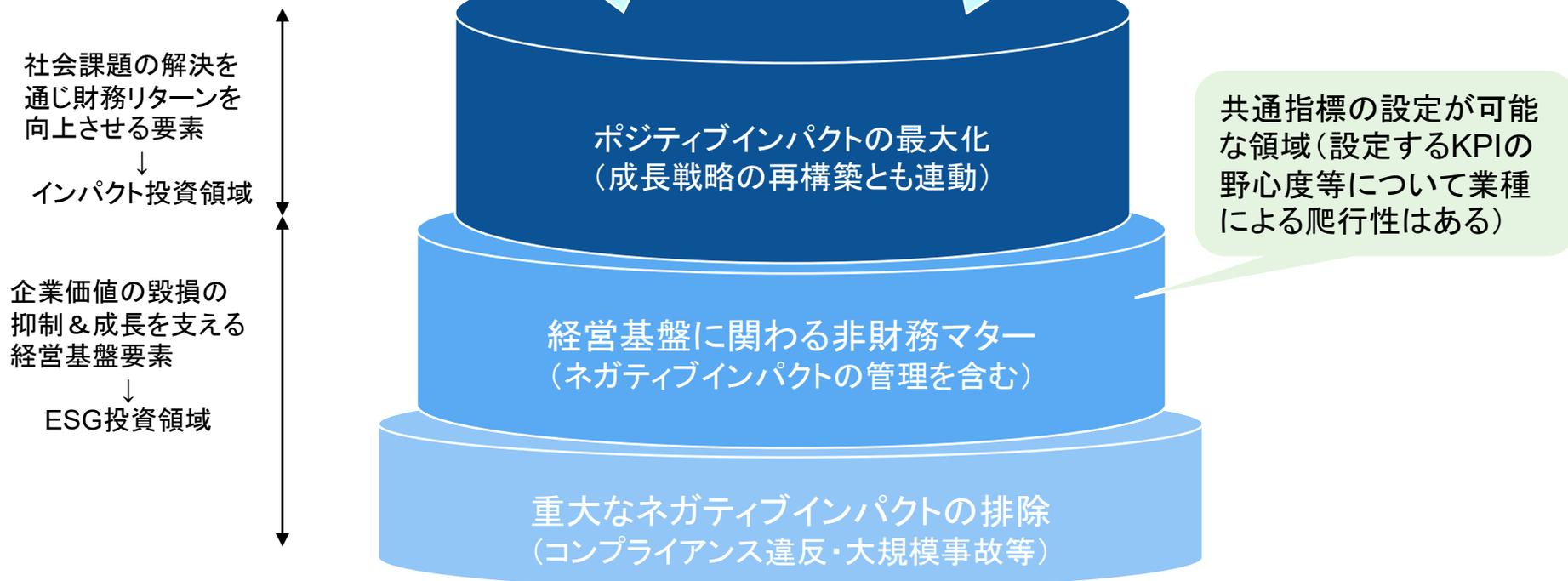
\* 2022年度については2023年2月まで

# 地域PIFの三層構造

必要に応じロジックモデルを活用した経営者への気づきの提供も考慮する

① 地域視点: 地域の経済・環境・社会に対する貢献  
→ 地域密着型ビジネスの展開が成長の源泉となる。地域特性に紐付けることも可能 (ex. 自治体の地方創生SDGs登録認証制度の活用)

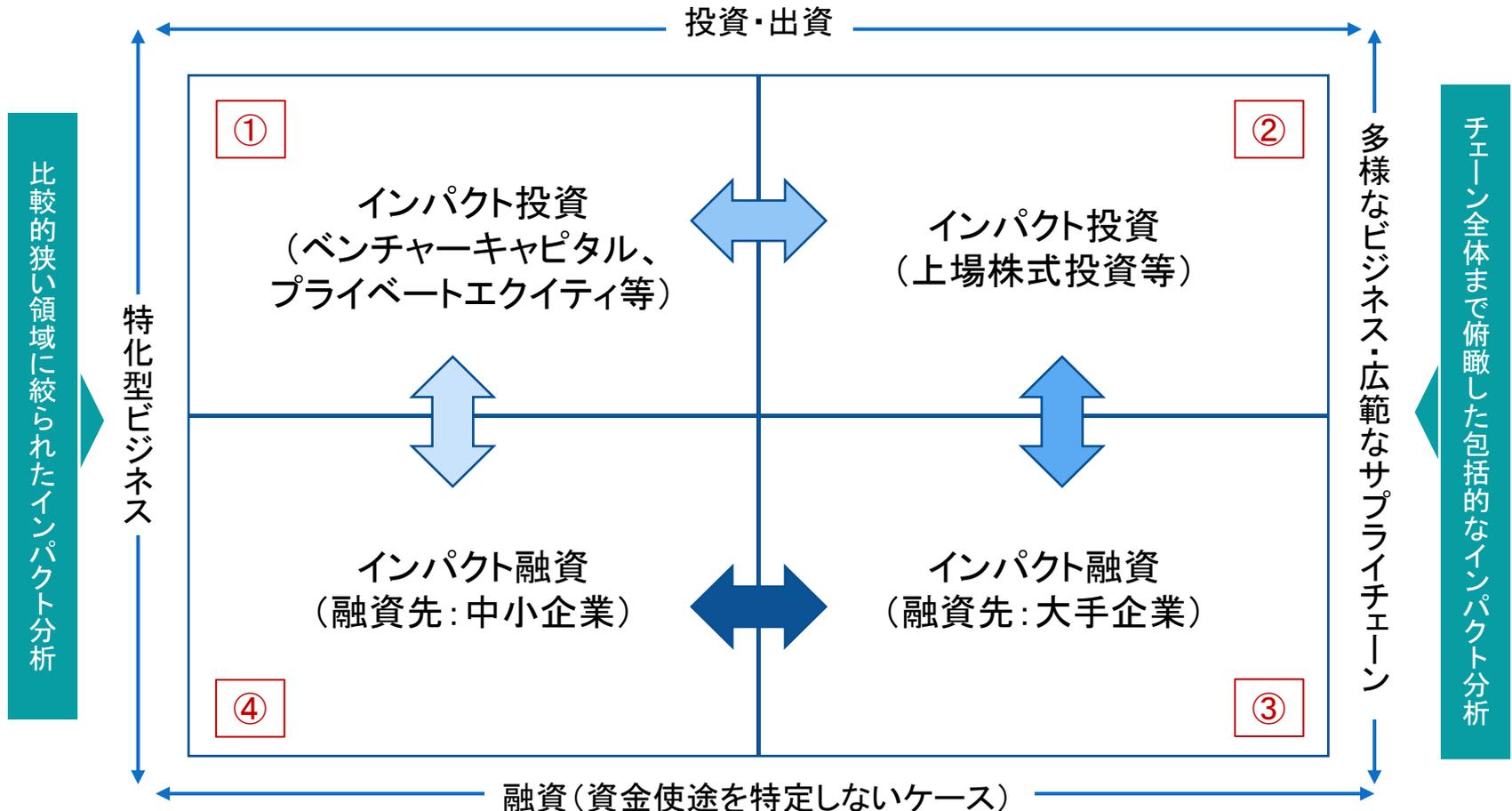
② グローバル視点: 革新的な技術開発等  
→ 当該企業の技術力分析に基づくポテンシャルへの把握、事業戦略の見直しにも含めた経営者との綿密な連携が求められる場合もある



(出所) インパクト志向金融宣言地域金融分科会・静岡銀行版インパクトウェディングケーキモデルに加筆

# インパクトファイナンス4象限イメージ

投資先は選別可能（一般的にはPI Companyが優先的に選別される）



融資先は通常は選別しない（PI Excluded Companyは一般的には対象にしない）

PI Company: ポジティブインパクト(PI)を創出する企業。ネガティブインパクト(NI)も適切に管理されている

PI Transition Company: PIはまだ大きくなく、NIの管理度も改善の余地はあるが、PI Companyへの移行は可能

PI Excluded Company: 企業のコア事業において、回避・緩和・補償が困難なNIがある